

2023年6月9日

各位

会社名 株式会社大和証券グループ本社
代表者名 執行役社長 中田 誠司
(コード番号 8601 東証プライム・名証プレミア)

花王株式会社 サステナビリティ・リンク・ボンド発行のお知らせ

このたび、株式会社大和証券グループ本社傘下の大和証券株式会社は、花王株式会社(以下、「花王」という。)が発行する花王株式会社第7回無担保社債(特定社債間限定同順位特約付)(サステナビリティ・リンク・ボンド*1)(以下、「本社債」という。)の引受けにおける事務主幹事及び Structuring Agent*2を務めましたので、その概要についてお知らせいたします。

花王グループは、「豊かな共生世界の実現」をパーパスに、2019年にESG戦略「Kirei Lifestyle Plan」(キレイライフスタイルプラン)を策定し、2021年より「未来のいのちを守る～Sustainability as the only path」をビジョンに掲げ、持続可能な社会に欠かせない企業になることをめざした中期経営計画「K25」に取り組んでいます。

本社債は、ESG戦略「Kirei Lifestyle Plan」の重点取り組みテーマの一つ、よりすこやかな地球のために脱炭素社会に向けた取り組みへのコミットメントを示すもので、2040年カーボンゼロ、2050年カーボンネガティブの実現に向けたCO₂排出量削減率を評価指標(以下、「KPI」という。)とし、2030年の目標から算出した2026年の中間目標を本社債の発行条件を決定するサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット(以下、「SPT」という。)として設定しました。事業活動におけるCO₂排出量削減に加え、さらに変わりつつある気候に対応した製品・サービスの提供、社会のCO₂排出量削減への貢献や、大気中の炭素の固定化により、脱炭素社会へ貢献します。

本社債の発行を通じて、資本効率を高めて社会課題の解決に取り組み、持続可能な社会への貢献と事業の発展の両立による企業価値向上をめざします。

花王は、本社債の発行にあたり、国際資本市場協会(ICMA)が定める「サステナビリティ・リンク・ボンド原則(Sustainability-Linked Bond Principles)2020」及び環境省が定める「サステナビリティ・リンク・ボンドガイドライン(2022年版)」に則したサステナビリティ・リンク・ボンドフレームワーク(以下、「本フレームワーク」という。)を策定しました。また、本フレームワークの原則等との適合性に関し、第三者評価機関である株式会社格付投資情報センター(以下、「R&I」という。)からセカンドオピニオンを取得しています。

(詳細は下記ホームページをご覧ください)

URL: https://www.r-i.co.jp/news_release_suf/2023/05/news_release_suf_20230517_jpn.pdf

大和証券グループ

■ 本社債の概要

社債の名称	花王株式会社第7回無担保社債 (特定社債間限定同順位特約付) (サステナビリティ・リンク・ボンド)
発行総額	250 億円
発行価格	各社債の金額 100 円につき金 100 円
発行年限	5 年
利率	2023 年 6 月 15 日の翌日から 2027 年 6 月 20 日まで 年 0.345% 2027 年 6 月 20 日の翌日以降 2027 年 5 月 31 日において SPT が未達成の場合、年 0.445% 2027 年 5 月 31 日において SPT を達成した場合、年 0.345%
払込期日	2023 年 6 月 15 日
償還期限	2028 年 6 月 20 日
取得格付	AA(R&I)
KPI	花王グループ全拠点におけるスコープ 1+2 CO ₂ 排出量(絶対量)削減率 (基準年:2017 年度)
SPT	2026 年度までにスコープ 1+2 CO ₂ 排出量(絶対量)39%削減(基準年:2017 年度)
主幹事証券会社	大和証券株式会社(事務)、野村証券株式会社、ゴールドマン・サックス証券株式会社
Structuring Agent	大和証券株式会社
財務代理人	株式会社みずほ銀行

(※1) サステナビリティ・リンク・ボンド

あらかじめ定められたサステナビリティ/ESG の目標を達成するか否かによって条件が変化する債券。サステナビリティ・リンク・ボンドの発行体は、あらかじめ定めた時間軸の中で、将来の持続可能性に関する成果の改善にコミットする。具体的には、サステナビリティ・リンク・ボンドは、発行体があらかじめ定めた KPI と SPT による将来のパフォーマンスの評価に基づいた金融商品であり、KPI に関して達成すべき目標数値として設定された SPT を達成したかどうかによって、債券の特性が変化する

(※2) Structuring Agent

SDGs 債の発行にあたって、フレームワークの策定や外部の第三者評価の取得に関する助言等を通じて、SDGs 債の発行支援を行う者

大和証券グループは、経営ビジョン「2030Vision」に掲げる「貯蓄から SDGs へ」をコアコンセプトに、資金循環の仕組みづくりを通じた SDGs の実現を目指します。ステークホルダーの皆様と共に、SDGs や ESG に資する取組みを通じた中長期的な企業価値の向上及びサステナブルで豊かな社会の創造に努めてまいります。

以上

(ご参考) 大和証券グループのサステナビリティに関する取組み:

https://www.daiwa-grp.jp/sustainability/?cid=ad_eir_sdgspress

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗(支店担当者)経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大1.26500%(但し、最低2,750円)の委託手数料(税込)が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては約定代金に対して最大0.99000%の国内取次手数料(税込)に加え、現地情勢等に応じて決定される現地手数料および税金等が必要となります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動(裏付け資産の価格や収益力の変動を含みます)による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほか、為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の30%以上で、かつ30万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価(購入対価・売却対価)のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失が生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失が生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および運用管理費用(信託報酬)等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等: 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号

加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本 STO 協会